

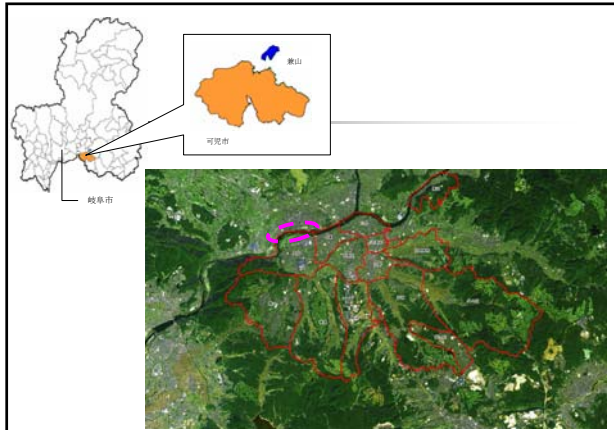
## 木曽川渡し場遊歩道について

木曽川左岸遊歩道友の会

## 木曽川左岸遊歩道の歩み

### 事業の概要

- ・区域: 今渡・土田地内
- ・主体: 今渡・土田自治連合会
- ・規模: 約4,000㎡(距離720m×幅5.5m)
- ・内容: 竹林・雑草の荒廃地をボランティアで遊歩道として整備



### 事業の概要

- ・区域: 今渡・土田地内
- ・主体: 今渡・土田自治連合会
- ・規模: 約4,000㎡(距離720m×幅5.5m)
- ・内容: 竹林・雑草の荒廃地をボランティアで遊歩道として整備

### 事業の背景

- ①半世紀以上放置された荒廃地
- ②ゴミの不法投棄の温床となる恐れ
- ③国定公園内で、木曽川の清流、歴史的風景、野鳥も育む恵まれた自然環境
- ④歌川広重が描いた浮世絵(太田の渡し場風景)
- ⑤埋もれた景観を蘇らせ、楽しめる場所に
- ⑥国への要望は、実現に至らず
- ⑦「自分たちで、できる事から始めよう」という意識の芽生え

## 整備前



## 整備前



## 事業の背景

- ①半世紀以上放置された荒廃地
- ②ゴミの不法投棄の温床となる恐れ
- ③国定公園内で、木曽川の清流、歴史的風景、野鳥も育む恵まれた自然環境
- ④歌川広重が描いた浮世絵(太田の渡し場風景)
- ⑤埋もれた景観を蘇らせ、楽しめる場所に
- ⑥国への要望は、実現に至らず
- ⑦「自分たちで、できる事から始めよう」という意識の芽生え

## 木曽川



## 歌川広重(木曽街道五十二次 太田)



資料:美濃加茂市民ミュージアム所蔵

## 事業の背景

- ①半世紀以上放置された荒廃地
- ②ゴミの不法投棄の温床となる恐れ
- ③国定公園内で、木曽川の清流、歴史的風景、野鳥も育む恵まれた自然環境
- ④歌川広重が描いた浮世絵(太田の渡し場風景)
- ⑤埋もれた景観を蘇らせ、楽しめる場所に
- ⑥国への要望は、実現に至らず
- ⑦「自分たちで、できる事から始めよう」という意識の芽生え

## 作業開始までの経緯

- ・発起人会立ち上げ(2007.5)
- ・合同会議:7回開催
- ・地区別会議:延べ12回開催
- ・現地調査(2007.6)
- ・ルートのテープ張り(2007.9)
- ・作業説明会:2回開催(2007.11)

## 発起人会(07.5.21)



## 今渡・土田合同会議



## 現地調査(07.6.4)



## ルートのテープ張り(2007.9.18)



## 作業説明会



今渡:07.11.4

土田:07.11.11

## 作業の実施状況

- ◆作業期間  
開始:2007.11  
完成:2008.4 ... 5か月半
- ◆作業実施回数:延べ23回
- ◆作業人数:延べ1,000人

## 作業の様子(07.11.17)



## 作業の様子(07.11.17)



## 作業の様子(08.1.19)



## 作業の様子(08.2.9)



## 作業の様子(08.2.23)





作業の様子(08.2.23)



竹の粉碎処理作業の様子(08.3.26)



竹の粉碎処理作業の様子(08.4.16)



完成した遊歩道(08.4.19)



### 作業の苦労話

- ・クズやフジのつるの巻き付き
- ・枯れ竹と倒伏した竹の整理
- ・蛇籠が草刈作業の手間

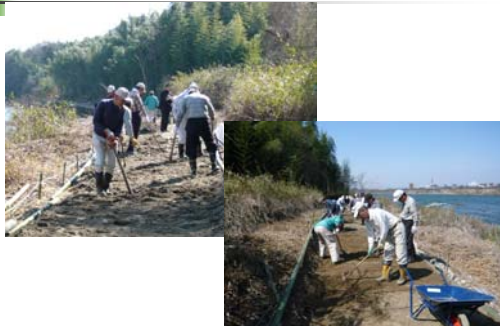
### 事業の問題・解決策

- ① 自治会組織や自治会員の負担 →
  - ボランティアとして会員を募集(142名応募)
- ② ボランティアの限界 →
  - 行政や企業の協力(資金、技術的指導、国との折衝、重機を使う工事など)

## 事業の成果

- ①荒れ果てた場所を切り拓き、道をつくる喜びと達成感
- ②会員同士のコミュニケーション
- ③「化石林」や伝説の「夜泣き岩」の存在
- ④「木曾川渡し場遊歩道」と命名され、親しまれる
- ⑤景観を蘇らせ、「こころの景観」を提供

## 荒廃地を切り拓く達成感



## 事業の成果

- ①荒れ果てた場所を切り拓き、道をつくる喜びと達成感
- ②会員同士のコミュニケーション
- ③「化石林」や伝説の「夜泣き岩」の存在
- ④「木曾川渡し場遊歩道」と命名され、親しまれる
- ⑤景観を蘇らせ、「こころの景観」を提供

## 化石林



## 夜泣き岩



## 散策の様子



## こころの景観



## 成功の秘訣

- ・ボランティアの理解と意欲
- ・企業や行政のバックアップ、国土交通省の理解
- ・地域住民の期待と励まし

## 完成記念イベント

- ・期日：2008年6月7日(土)
- ・記念式典：180名出席、遊歩道の愛称を「木曽川渡し場遊歩道」に一般公募により決定
- ・記念講演：「遊歩道周辺の自然と歴史の変遷」 講師：金子郁朗先生
- ・ウォーキング大会：(約900人参加)

## 完成記念イベント(記念式典)



## 完成記念イベント(記念式典)



## 完成記念イベント(記念講演)



## 完成記念イベント(ウオーキング大会)



## 完成記念イベント(ウオーキング大会)



## 今後の取り組み

- ①「友の会」で維持管理を行い、景観保全
- ②竹林全体の整備(緑地保全)
- ③対岸から散策する「周回コース」の整備
- ④釣り堀のある水辺の公園など(夢を膨らませる)

終 わ り